新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

■2面　女性ニュース／国会　■3面　読者のページ／俳句／まんが　■4面　年金相談／女性史／人「性」いろいろ／法律相談　■5面　憲法／ホット　■6面　確定申告／もう一品／母の歴史　■7面　次世代交流会／主張／北京＋25

川崎市　大竹公子

新日本婦人の会は国連に認証されたＮＧＯです

一人ひとりの声が動かす！

オンラインで450人つながって！　1月31日、2月2、4日

コロナ禍での新婦人の次世代の活動を交流し、少しでも思いをしゃべりあおうと1月31日、2月2、4日の3日間行われた「つどう・つながる☆次世代交流会パート3」。全国で活動する新婦人の次世代の会員が参加し、オンライン上で活発に交流しました。

（詳細2、7、8面）

つどう・つながる★次世代交流会 Part 3＠オンライン

西川副会長（右）、司会の池田中央常任委員

顔をみて喜びあって

1年半ぶりの開催となった次世代交流会。11都府県に緊急事態宣言が出されるなか、今回はオンライン会議システムのＺｏｏｍを使って3日間で450人が参加し、久しぶりの再会に喜び合う姿も。リアルな場を共有できなくても、「共有画面を見ているだけで感動した」「大きな会場よりも発言者を間近に見られて、親近感があり気軽」の声が寄せられました。

前半の全体会では、西川香子副会長が、「声をあげる、直接体験する、本当に変える」をキーワードに報告。この1年、コロナ禍で、全国の「困った」の声を素早くキャッチして文科省に交渉し、40年ぶりの標準法の改定で少人数学級の一部前進を勝ちとった経験をはじめ、一人ひとりの声が社会を動かしてきたことをパワーポイントで紹介。ジェンダーカフェなどのとりくみで、新しい仲間が増えていることに「同じ世代が今日も日本のどこかでこんな活動をしているんだ、という発見がとても励みになるし勇気づけられる」「コロナ禍だからこそ運動してつながれた」と確信になりました。

オンラインの利点を生かして遠くの仲間と交流

#わきまえない女が動かした

この間、ツイッターデモなどネット世論が政治を動かす力の一つになっていることも話題です。森喜朗氏の女性蔑視発言が大問題になった翌日、2月4日の回では、「今、ツイッター上で#わきまえない女のハッシュタグがトレンドになっている」との報告に、画面上でも多くの参加者が大きくうなずいて意思表示。「森氏の発言にいろいろ思うところもあり、そんな中で女性がみんなで考え、発言し、行動する団体の存在は意義がある」との感想も寄せられました。

全体会では、3日間で19人が、各地の特徴的な取り組みを報告。当事者とともにＬＧＢＴＱについて学ぶジェンダーカフェ、食料支援と相談会の実況。コロナ禍で外出や集まることが制限されるなか、ゲストも迎えながらオンライン学習会を開いた経験、就学援助の申請方法について実体験を交えての教育委員会への申し入れなど、動画や中継など工夫を凝らしたレポートに、実際にその場にいる感覚が共有されました。

〈2面へ〉

全体会の報告より

福島・宮城　震度6強

2面

発行所　新日本婦人の会　New Japan Women's Association　〒112―0002 東京都文京区小石川5-10-20　電話03(3814)9141(代)　編集部 03(5805)2370／ Fax 03(5805)2372　振替00150-7-74582　http://www.shinfujin.gr.jp
©新日本婦人の会2021年
1部105円　月410円（いずれも税込み、送料別）、会員は会費に含む